あなたも今日から 栽培名人

園芸研究家 成松 次郎

園芸ノート

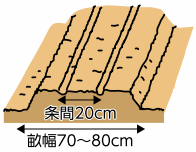
ニンジン（セリ科ニンジン属）

ニンジンの発芽適温は15～25度で、7～10日で発芽がそろいますが、35度以上では発芽しません。発芽直後の種は乾燥すると枯死し、過湿では酸素不足で発芽不良になります。その後の生育適温は20度前後の冷涼な気候です。

［品種］ 耐病性、耐暑性に優れる品種を選びましょう。五寸系では「向陽二号」（タキイ種苗）、「ベーターリッチ」（サカタのタネ）、「ひとみ五寸」（カネコ種苗）などがあります。ミニニンジンは極早生で柔らかく、生食向きです。

［畑の準備］ 種まきの2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布して、深さ30cm程度に耕しておきます。種まきの1週間前に、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10％）100gと完熟堆肥2kgを施し、土とよく混ぜておきます。70～80cm程度の畝幅に、条間20cm、深さ1、2cm程度のまき溝を2条作ります（図1）。

図1 畑の準備



［種まき］ 畑が乾いているときは、まき溝に灌水（かんすい）をしておきます。溝に種を1、2cm間隔に条まきし、裸種子は5mmの厚さ、ペレット種子の場合は1cmの厚さを基準に覆土します。軽い火山灰土では手でしっかり土を押さえ付けておきましょう。さらに、もみ殻をかぶせて乾燥を防ぐ、黒寒冷しゃの被覆で地温を下げるなどの対策を行います。

［灌水］ 種まき前に土にしっかり水を含ませること、発芽後も土を乾かさないことが大切です。なお、黒寒冷しゃなどの日射を遮る資材でべたがけしたときは、発芽後すぐに取り除きます。

［間引きと追肥、土寄せ］ 1回目の間引きは本葉2、3枚のときに密生部や生育の遅れている株、逆に極端に進んでいる株を間引きます（図2－1）。2回目は本葉5、6枚のときに行い、株間を6～10cmにします。間引く株の根元を手で押さえて引き抜きます（図2－2）。最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料50gを追肥し、株元に土寄せして株をしっかり固定させましょう。収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せし、根が緑に着色するのを防ぎます（図3）。

図3 土寄せ

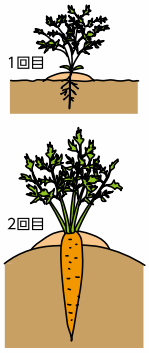


図2-2 間引き②

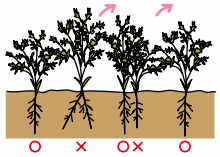
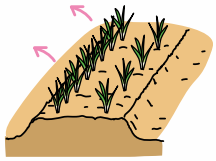


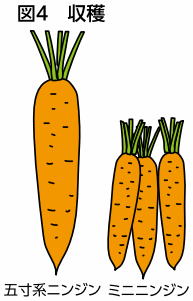
図2-1 間引き①



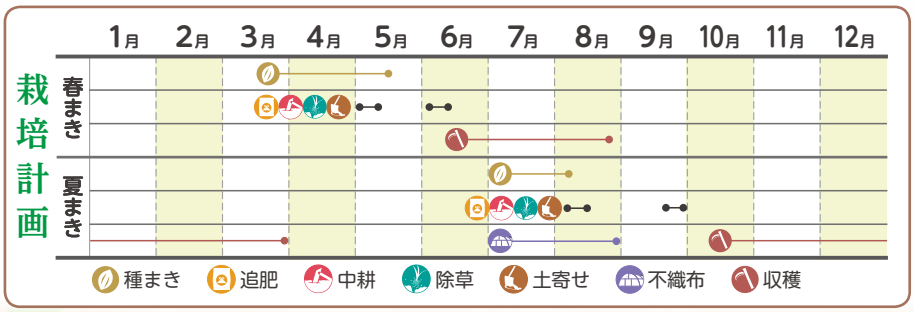
［病害虫の防除］ 葉はキアゲハの大好物なので、見つけ次第、手で取り除きます。ネコブセンチュウに弱いので連作を避け、前作に被害があるときは作付けを控えましょう。

［収穫］ 根径5cm程度に肥大した株から順次抜き取ります。年内は肥大が続くので、太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします（図4）。8月まきでは、さらに土寄せして越冬させ、葉が枯れた後でも適宜掘り上げて収穫できます。

図4 収穫



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



ニンジンはβカロテンやリコピンをたくさん含んだ健康野菜です。最近は収穫までの期間が短く、作りやすい西洋種の栽培が人気です。

◆連作

ニンジンは連作が可能ですが、できれば一度作ったら1～2年休んだ方が安全です。

ネコブセンチュウなどが発生した畑では連作を避けましょう。線虫害を防ぐために、ゴボウなどの根菜類との連作も避けることが必要です。

線虫が発生した畑ではマリーゴールドやクロタラリアなどを栽培すると防除に効果があります。

JAグリーン津店が ニンジン栽培のポイント教えます！

JAグリーン津店
店長 松井 茂樹

双子座 5.21～6.21

【全体運】好情報をキャッチでき状況は好転へ。好奇心のアンテナを高く掲げておきましょう。習い事にもツキがあります

【健康運】運動は仲間と一緒に。楽しみながら長続きできます　【幸運を呼ぶ食べ物】ソラマメ